

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

「自然と共生し、持続可能な農業と地域社会を育む」ことを経営理念とし、金柑の特別栽培（JGAP認証取得）や放牧養豚、堆肥の地域循環、有機肥料の活用など、環境にやさしい農業を実践しています。

また、ICTを活用したスマート農業の導入や、SNS・ECサイトによる情報発信を通じて、地域農業の魅力を広く伝え、販路拡大とブランド力の向上を図っています。

今後も、地域の農家や学校、福祉事業者、IT企業などと連携し、環境保全・人材育成・地域経済の活性化をバランスよく進めながら、2030年のSDGs達成に貢献していきます。

<SDGs達成に向けての重点的な取組み及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	地域農業の活性化	自給率: 2025年 50% → 2028年 80%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	社員向けデジタル研修の実施とIT人材の育成	研修受講者数: 2025年 2名 → 2028年 8名
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	金柑の魅力を伝えるSNS・ECサイトによるブランド発信と販路拡大	EC販売件数: 2025年 300件 → 2028年 600件

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

地元の農家や学校、福祉施設と協力して、農業体験や食育活動を行っています。

また、ICTの専門業者と連携して、圃場のスマート化や情報発信の強化に取り組んでいます。

今後も地域と協力しながら、持続可能な農業と地域づくりを進めていきます。

- 「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- 「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- 「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。